

# 平成 24 年度 外部点検結果報告書

福井市行政改革推進委員会

平成 24 年 10 月

【公の施設】

No.	施設名 担当所属	施設に対する提言・意見等
1	<p style="text-align: center;"><b>越前水仙の里温泉 波の華</b></p> <p style="text-align: center;">観光開発室</p>	<p>現状のままでは、今後も赤字が続くと見込まれることから、早急に再建策を考えるべきであり、下記の内容について、検討・改善が必要と考える。</p> <p>①地元の意向もふまえ、施設の目的、活用策を早急に構築すべきである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光施設なのか、地元の高齢者のための地域コミュニティー施設なのかを明確にすべきである。</li> <li>・観光施設として位置づける場合は、厨房施設は不可欠と思われる。また、隣接の海水浴客を呼び込むような施策や、越前海岸沿いの他の温泉施設や飲食店との連携した取り組みを検討すべきである。あるいは、景観を生かした若者も呼び込めるような施設に改良すべきである。その場合は高齢者への配慮などが必要である。</li> <li>・施設が老朽化しないうちに、廃止・売却も一選択肢として考慮すべきである。</li> </ul> <p>②施設の維持管理にかかる経費については、現状のままでは指定管理者制度を導入しても市の負担は軽減されない。経費削減にむけ、抜本的解決策を検討すべきである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンサルタントなどの民間のアイデアや、指定管理者による経営ノウハウを最大限に活かし、施設全体のレベルアップを図り、経費削減を行ってもらいたい。ただし、指定管理者制度を導入しても、現状のままでは施設の維持管理経費を削減できる部分が少ないため、抜本的改善を行うべきである。</li> </ul>
2	<p style="text-align: center;"><b>おさごえ民家園</b></p> <p style="text-align: center;">文化財保護センター (文化課)</p>	<p>伝統文化の伝承という点で、残すことに意義がある施設である。また、民間では担えない施設であり、市が行うべき施設と理解できた。今後、更なる利活用を図るため、下記の内容について提言・要望を行う。</p> <p>①集客については、民間の力（市民サポーター、NPO、市民活動団体等）を借りていくことが効果的であり重要である。イベントの企画等や支援組織として、市民の参画を促進すべきである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民活動団体等に定期的に場の提供を行う代わりに、集客を図るイベント等を企画運営してもらってはどうか。</li> <li>・大人が関心を持つことで観光の側面としての活用にもつながると思われることから、子どもだけでなく大人を対象としたイベントの企画開催も重要である。観光部署との連携も重要である。</li> <li>・運営等についてアドバイスをを行う、一般市民も加わったバックアップ組織を設置することが望ましい。</li> </ul> <p>②施設及び活用方法について、広報を強化すべきである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・名称変更も含め、市内だけでなく福井県広域の民家が集結していることを、もっとPRすべきである。</li> <li>・使用した団体等の感想も付して、古民家の利用方法について市民に発信すべきである。</li> <li>・古民家の研究拠点として位置づけるなどして、施設の価値を高め、市外にも強くアピールしていくべきである。</li> </ul> <p>③当時の生活と現代の生活が結びつくような展示や、季節ごとに植栽を行うなど、生き生きとした生活感の感じられる施設としてもらいたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・風景、景観としても楽しめるため、季節ごとの植栽を行うなど工夫することで、四季の感じられる施設としてほしい。</li> <li>・単なる展示ではなく、当時のしきたりや生活リズムが現代の生活と結びつくような展示を行ってほしい。</li> <li>・現状では不可能とのことであるが、敷地にもう少し余裕を持たせ、各家をそれぞれの生活と一体化した民家として残すことも、今後の課題として検討してほしい。</li> </ul>

No.	施設名 担当所属	施設に対する提言・意見等
3	<p style="text-align: center;"><b>自然史博物館</b></p> <p style="text-align: center;">自然史博物館 (文化課)</p>	<p>これまでの経緯から、今後も足羽山を拠点とする施設であることは理解できた。ただし、下記の内容について提言・要望を行う。</p> <p>①市が考える施設像と市民のニーズを把握した上で、自然史博物館のあり方を明確にすべきである。また、足羽山全体における施設の位置づけ、環境整備も行ってもらいたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設が担う役割のうち、自然史博物館として特に力を入れる役割の検討を行い、施設のあり方を明確にすべきである。</li> <li>・施設からの眺望を活かした活用を検討してほしい。</li> <li>・施設までの道路の整備を行ってほしい。</li> </ul> <p>②収集資料の整理及び保管スペースの充実を図るべきである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保管するだけでなく、より市民に活用してもらえよう、収集資料について整理が必要である。</li> <li>・今後も増え続ける資料について、別の施設に移すなど保管スペース確保のための検討が必要である。</li> </ul> <p>③類似施設や関係機関との連携を、積極的に行うべきである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福井県立恐竜博物館などの類似施設や市内文化施設との連携を、積極的に行うべきである。</li> <li>・関係機関との連携を図り、若い世代の育成や、協力員・ボランティアなど博物館業務をバックアップする体制づくりを行ってもらいたい。</li> </ul> <p>④より施設を知ってもらうため、施設外で展示を行うなど、展示について更なる工夫を行ってもらいたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・展示環境条件に問題がないのであれば、足羽山以外の場所での展示をもっと行ってもらいたい。</li> <li>・エレベーター設置などの大幅な改修が困難であるならば、展示物を1階に移すなど、多くの人により多くの収集資料を見てもらえるような工夫を行ってもらいたい。</li> </ul>

【市民対象ソフト事業・内部事務事業】

No.	事業名 担当所属 (23年度決算額)	今後の方向性		評価結果の理由	改善すべき点・要望	
		評価結果	内訳			
1 【1班】	若年者就労支援事業 労政課 (2,052千円)	再構築	維持 拡大 縮小 再構築 廃止	5	<p>地元企業への就職を促進するという目的は重要であり、市として支援することは理解できる。 ただし、メールマガジンを主体とする現在の内容のままでは市の独自性が見えず、登録者数も少なく、効果が見えない。 就労支援は市が単独で取り組む事業ではないため、内容等についてゼロベースでの見直しが必要と判断し、今後の方向性は「再構築」とした。</p>	<p>①現状では、様々な機関（企業、商工会議所、各大学、国、県）が就労に関する情報を発信している中、役割分担を明確にした上で連携を深め、ゼロベースで見直すべきである。 ②今後もメールマガジンを使った情報発信を行うのであれば、市民と地元企業の両者にとってプラスとなる内容に充実するとともに、利用者の意見が事業に反映できるシステムにすることで、より効果的な配信内容となるようにしてもらいたい。また、情報の新しさ、効果のアップなど内容についても検討してもらいたい。</p>
2 【1班】	中央卸売市場 活性化事業 中央卸売市場 (1,360千円)	再構築	維持 拡大 縮小 再構築 廃止	2 3	<p>市場の活性化は、本来、生産者と業者を対象に図るべきである。市民に市場を開放することと、市場の活性化との関連性が不明瞭と判断し、今後の方向性は「再構築」とした。</p>	<p>①「市場フェスタ」、「関連商品売場棟試験開放」については、市場の活性化を図る上で、何故市民に開放していく必要があるのか目的を明確にし、事業内容の検討を行うべきである。 ②「市場体験講習会」は、対象者が少ないことから効果的とはいえない。市が行っている他の事業とも連携して実施すべきである。</p>
3 【2班】	「一押しのお逸品」 育成事業 マーケット戦略室 (1,042千円)	再構築	維持 拡大 縮小 再構築 廃止	3 2	<p>市内で生産される農作物や伝統野菜を活用した商品開発等を支援することは意義があり、今後も必要と考える。 ただし、企業に対する支援なのか農作物の振興なのか、事業内容がわかりにくくなっていることから、マーケット戦略室として実施すべき目的や内容に見直すべきと判断し、今後の方向性は「再構築」とした。 ※評価にかかる委員数としては、維持が3、再構築が2であったが、協議の結果、今後の方向性は「再構築」となった。</p>	<p>①マーケット戦略室が行うのであれば、食品加工業者の支援に目的を絞って事業を再構築すべきである。再構築にあたっては、農林水産部と連携を図りながら実施してもらいたい。 ②16品目の中でも、商品開発が期待でき安定して供給できるものと、そうでないものを区分した上で、効果的なものを選択して、PDCAサイクルを採用するなど、計画的に事業展開を行うべきである。</p>
4 【2班】	平成独楽吟事業 歴史のみち整備推進室 (2,800千円)	拡大	維持 拡大 縮小 再構築 廃止	5	<p>地域の魅力を高める手段の1つとして郷土の偉人である橘曙覧という歴史的資産をもっと活かしてもらいたいとのことから、事業内容の見直しが必要と判断した。見直しに伴い、事業内容及び事業費の拡大も止むを得ないと判断し、今後の方向性は「拡大」とした。</p>	<p>①より多くの人に関心を持ってもらえるよう年度ごとにテーマを設定し、話題性のある事業を展開してもらいたい。 ②入賞した作品を書籍化するなど活用して、福井らしさの発信につなげてもらいたい。 ③幅の広い事業となるよう市民のアイデアを広く取り入れるなど、観光戦略にも繋がるような事業内容の見直しを行ってもらいたい。</p>

No.	事業名 担当所属 (23年度決算額)	今後の方向性		評価結果の理由	改善すべき点・要望
		評価結果	内訳		
5 【1班】	食とアートで まちなか文化発信事業  中心市街地振興課 (9,000千円)	維持 (要改善)	維持 ※ 拡大 縮小 再構築 廃止	食やアートを媒体に、まちなか文化を発信し、中心市街地の活性化に注力することは必要と判断し、今後の方向性は「維持」とした。 ただし、「福井」については、観光客等に対し市内の食材を使用した井を提供するというコンセプトは理解できるものの、効率的・効果的に実施するには、民間に委ねる方がよいのではないかと判断した。 また、「アート」については、市民が参画できるような内容を実施していることから評価できるが、更なる検証、改善を行っていきべきと判断した。	①「食」については、市は具体的な商品開発に直接関わることなく、民間の商品開発や販路拡大をバックアップするスタンスで関与すべきである。 ②「アート」については、関係団体、商店街等との連携を、更に密にしていく必要がある。また、事業開始から年数も浅く試行段階とも思われるため、中心市街地の他の事業の状況も踏まえ、よりよい事業となるよう改善を図ってほしい。  ※点検結果は下記のとおり
6 【2班】	総合行政 情報システム事業  情報課 (953,945千円)	維持 (要改善)	維持 4 拡大 縮小 1 再構築 廃止	業務の効率化、市民サービスの向上において、情報を総合的に一括管理・運用する本事業は必要な事業であると判断し、今後の方向性は「維持」とした。 ただし、現状のままでは、経費が際限なく膨らむ恐れがあるため、次期システム更新にむけ現行システムについての検証を行う必要があると判断した。	①現行システムの課題等を検証し、次期システムについては、より経費を抑えたシステム構築を行うべきである。 ②システム事業に多額の経費がかかっていることに対し市民の理解が得られるよう、情報を総合的に管理・運用することでの費用対効果について、市民にも見えるよう工夫してほしい。
7 【1班】	ガス機器 宣伝啓蒙等事業  営業開発課 (12,279千円)	維持 (要改善)	維持 4 拡大 縮小 再構築 1 廃止	都市ガスの啓蒙を図ることの必要性は理解できる。また、市会計から独立した企業会計であり、一企業の広告宣伝事業とすれば適切であると判断し、今後の方向性は「維持」とした。 ただし、普及拡大については、費用対効果を含め、より効果的な方策の検討も必要と判断した。	①将来的にガス需要の拡大が厳しい中、より効果的な宣伝方法がないかの検討が必要である。 ②都市ガス需要世帯の拡大のために、都市ガス本管が通っている地域の未利用者に対し、都市ガス利用の積極的なPRを行ってほしい。 ③ガス事業の民営化に向けた検討を行ってほしい。
8 【2班】	都市緑化推進啓蒙事業  公園課 (7,424千円)	維持 (要改善)	維持 4 拡大 縮小 再構築 1 廃止	各地域の特色を活かした地域緑化と都市公園の美化保全について、今後さらに、市民との協働により推進していくことは必要だと判断し、今後の方向性は「維持」とした。 ただし、事業内容については、一部改善が必要と判断した。	①「まち美化パートナー制度」「公園管理人制度」「ガーデンシティふくい推進事業」については、活動内容等の更なる効果を上げるために、検証・精査を行うべきである。 ②「福井市都市緑化祭」については、必要性・意義について精査し、実施方法などについて再検討すべきである。 ③市民の緑化推進に対する意識の向上を図るため、公園の維持管理にかかる全体経費のうち、業者への配分内容の見直しを行い、市民参加事業の配分を増やすことができないか検討してほしい。 ④公園の美化に対する意識と保全活動に地域格差ができないよう、それらの低い地区に対しては指導を行ってほしい。

食 (福井)	維持	
	拡大	
	縮小	
	再構築	2
アート	維持	4
	拡大	
	縮小	
	再構築	1

No.	事業名 担当所属 (23年度決算額)	今後の方向性		評価結果の理由	改善すべき点・要望	
		評価結果	内訳			
9 【2班】	資源化事業 清掃清美課 (223,718千円)	維持 (要改善)	維持	5	ごみの資源化は、長年の社会的な問題・課題であり、必要な事業であると判断し、今後の方向性は「維持」とした。 ただし、資源化の取組みは何処まで行えば十分とする目安もないため、現行の予算水準を上限とし、事業の更なる効率化を図る必要があると判断した。	①資源化事業についての大きな方針を明確にすべきである。 ②効率化を図るなどして、費用対効果を高めてもらいたい。 ③ごみの資源化や、ごみの排出量そのものを削減するよう、市民への啓発活動を推進してもらいたい。 ④資源化についての先行事例(共同研究開発等)を研究し、市の取組に反映させてもらいたい。
	拡大					
	縮小					
	再構築					
	廃止					
10 【2班】	すみずみ子育て サポート事業 保育課 (38,024千円)	維持 (要改善)	維持	5	安心して子どもを産み育てることのできる環境を整え、少子化に歯止めをかけるうえで、このような子育て支援は必要不可欠である。また、委託先との連携、利用状況を把握した上で事業の精査も行って、適正な事業と判断し、今後の方向性は「維持」とした。 ただし、安易に便利なサービスを提供しすぎることのないよう、既存の地域における子育て支援とのバランスをはかるなど、検討も必要だと判断した。	①中期的な事業計画・ビジョンを基に、過度なサービスにならないよう、既存の地域での子育て支援とのバランスも考慮して、事業を実施すべきである。 ②突発的なニーズこそ本当のニーズと思われる。施設間でのネットワークを強化するなど、受け入れが可能となるよう検討すべきである。 ③施設ごとの特性も有意義だが、行政が関わる以上、一定のサービス水準が保たれるように指導してもらいたい。 ④福井市全体でみた場合に、まちなかと周辺部でサービスの偏りがないか把握し、あれば改善してもらいたい。
	拡大					
	縮小					
	再構築					
	廃止					
11 【2班】	介護サポーター ポイント事業 介護保険課 (3,592千円)	維持 (要改善)	維持	5	高齢者が、サポーター活動を通じ地域貢献することで、自身の社会参加を通じた介護予防を推進する本事業の必要性は高いと判断し、今後の方向性は「維持」とした。 ただし、本来の事業目的が見えにくくなっているため、改善が必要と判断した。	①サポーター活動の場を介護施設だけでなく子どもを対象とした施設にまで広げたことにより、本来の目的が見えにくくなっている。活動の場を介護施設のみに戻し、活動人数が増えるよう事業内容の充実を図るべきである。 ②委託先及びサポーターのクオリティーが更に向上するよう働きかけを行ってもらいたい。 ③事業が市民に浸透するよう活動内容も含めた周知を図るとともに、個人登録だけでなく、団体に働きかけて団体単位での登録も行ってもらう。
	拡大					
	縮小					
	再構築					
	廃止					
12 【2班】	ミーティング テーブル事業 市民協働・国際課 (1,314千円)	維持 (要改善)	維持	5	市民が行政と対等な立場で役割を担い、協働で社会的課題や生活課題に対応する事業を進めることは、今後ますます重要であると判断し、今後の方向性は「維持」とした。 ただし、運用面で課題が多いことから、課題を明確にした上で改善が必要と判断した。	①運用面の課題としては、市民と行政との間で協働に対する意識のずれがあるのではないかと。例えば、提案事業についてみると、協働事業化する上で実現性の低いものが多いように思われる。それらをふまえ、抜本的改善を図るべきである。
	拡大					
	縮小					
	再構築					
	廃止					

No.	事業名 担当所属 (23年度決算額)	今後の方向性		評価結果の理由	改善すべき点・要望
		評価結果	内訳		
13 【1班】	小学校 英語活動推進事業  学校教育課 (24,977千円)	維持	維持 5 拡大 縮小 再構築 廃止	コミュニケーション能力の養成や外国の言語や文化に理解を深めるために、外国人と接する機会を与えることは、子どもにとって有意義である。また、人材の質も確保されていると判断し、今後の方向性は「維持」とした。	①ふれあいを目的とするのであれば現状でも十分かと思われるが、コミュニケーション能力の養成や外国の言語や文化に理解を深めるためには、現状の予算の範囲内で、訪問回数が少しでも多くならないか検討してもらいたい。
14 【1班】	人材育成事業  職員課 (16,164千円)	維持	維持 5 拡大 縮小 再構築 廃止	仕事の質や効率を向上させ質の高い市民サービスを行うために研修は必要であると判断し、今後の方向性は「維持」とした。	①公民館、NPO 機関といった市民と接する機会の多い場所での研修を、検討してもらいたい。 ②社会情勢によるニーズの変化に対応できるよう、研修内容については常に見直しを図ってもらいたい。
15 【1班】	福井学推進事業  生涯学習室 (2,926千円)	維持	維持 4 拡大 1 縮小 再構築 廃止	福井学を学び、郷土愛の醸成や地域参画を促すことは、心豊かな地域社会の形成に有効であると判断し、今後の方向性は「維持」とした。	①福井学の周知、学習成果の情報発信については、ホームページだけでなく、別の方法でも広く市民に周知してもらいたい。 ②将来を担う子どもたちにこそ、福井学を学んでももらいたい。子ども対象のプログラムについては、専門家も入れて、楽しく参加しやすいものになるよう工夫してもらいたい。
16 【1班】	防犯隊活動支援事業  危機管理室 (24,515千円)	維持	維持 4 拡大 1 縮小 再構築 廃止	安全で安心なまちづくりを推進する上で、地域住民による防犯活動、各種行事の警備応援は大変重要であり、今後も継続する必要があると判断し、今後の方向性は「維持」とした。	①防犯隊の活動内容等の周知について、強化してもらいたい。 ②防犯隊未設置の地域に対する働きかけを今後も行ってもらいたい。また、活動報酬について類似の団体と比較検討してもらいたいとの要望もあった。